

これぞ小国の春



おぐに議会だより

第8号

平成24年5月10日

○新年度予算 48億7900万円

○今、夢聞く 入学式

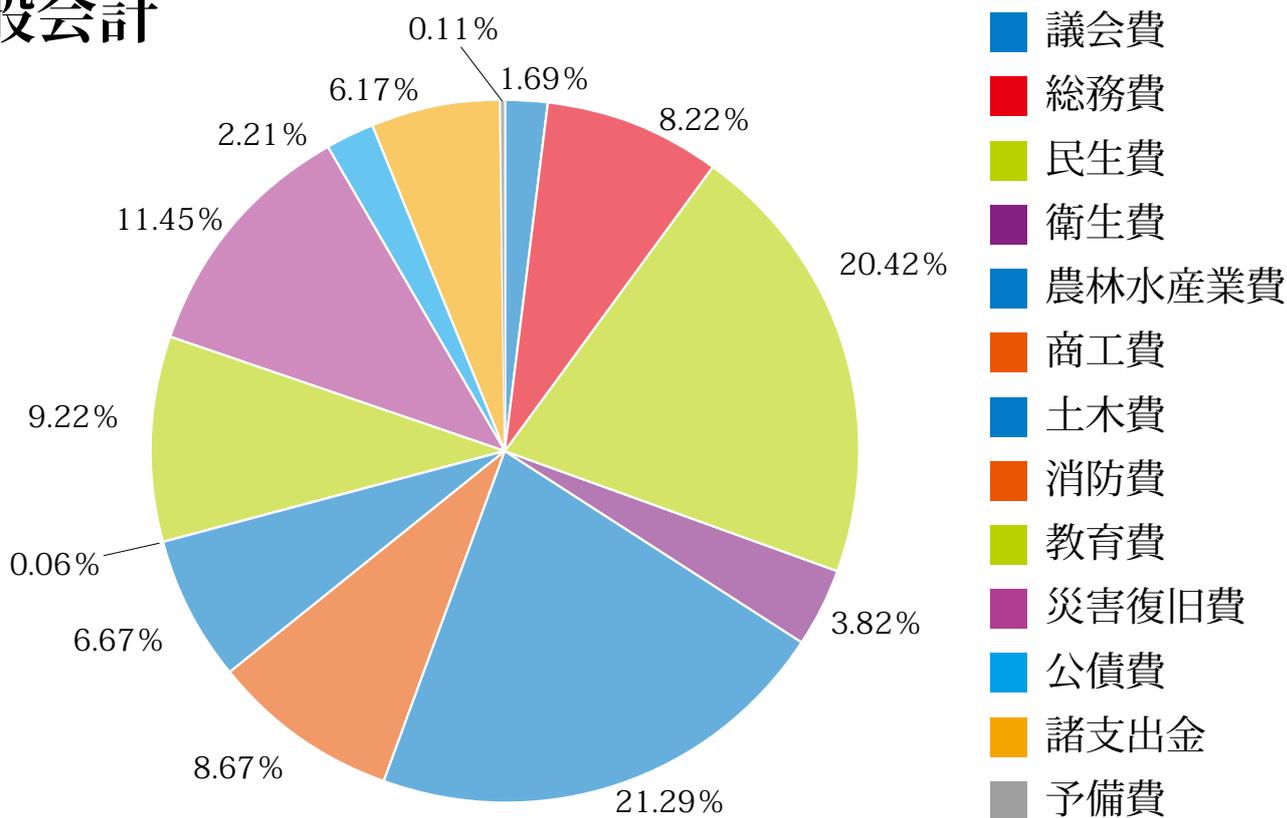
○全議員が町政を問う

【一般質問】

○新シリーズ わかりやすい議会

新年度予算 48億7,900万円に決定

一般会計



歳出の内訳

議会費	8,233万5千円	土木費	4億108万2千円
総務費	9億9,643万1千円	消防費	1億8,621万円
民生費	10億3,891万3千円	教育費	4億2,291万4千円
衛生費	3億2,537万4千円	災害復旧費	310万円
農林水産業費	4億4,990万6千円	公債費	5億5,879万9千円
商工費	1億762万9千円	諸支出金	3億121万円
		予備費	509万7千円

対前年度比プラス5.9% 2億8,800万円の増

平成24年度 小国町特別会計予算

各特別会計予算の内訳

国民健康保険	12億4,716万3千円
老人保健	28万6千円
介護保険	8億7,044万4千円
後期高齢者医療	1億242万2千円
地方改善施設住宅新築資金等貸付金	62万1千円
坂本善三美術館	1,885万7千円
簡易水道	932万円
農業集落排水事業	1億4,094万2千円



小国公立病院



城迫団地 福祉施設

平成24年度 小国町水道事業会計予算

事業会計の内訳

業務の予定量	1億1,765万円
収入合計	1億4,275万6千円
支出合計	1億3,915万5千円

平成24年 第1回定例会

条 例

- 小国町情報公開条例(一部改正)……………これまで情報公開請求権者が町民等に限定されていたものを誰でも請求出来るよう変更
- 小国町防災会議条例(一部改正)……………委員の定数を43名以内から56名以内に変更
- 小国町税条例(一部改正)……………個人住民税の均等割標準税率を一人当たり500円の増税等
- 小国町介護保険条例(一部改正)……………第1号被保険者(65歳以上の方)の保険料基準額を年間9,600円(月あたり800円)引き上げ
- 小国町営住宅管理条例(一部改正)
- 小国町営単独住宅の設置及び管理に関する条例(一部改正))……………单身の方でも町営住宅に入居出来るよう変更
- 小国町テレビ放送共同受信施設の設置等に関する条例(廃止)……………テレビ放送波のデジタル化移行による受信施設廃止に伴う条例の廃止
- 小国町山村開発センターの設置及び管理に関する条例(一部改正)……………402号室と403号室に議会事務局、監査委員事務局入居に伴う条例改正



その他

- 阿蘇広域行政事務組合の共同処理する事務及び規約(一部変更)……………構成自治体が基金のうち出資金額を処分するための条件を組合脱退から構成自治体の協議に変更
- 小国町公の施設の管理者指定……………木魂館、北里柴三郎記念館の指定管理者を(財)学びやの里に指定
- 町道路線の廃止
- 町道路線の認定)……………黒淵仁田切の『東蓬莱仁田切線』の引き直しと、黒淵杉平の『杉平中線』を新たに認定
- 財産の無償譲渡……………旧小国学園の利用者からの未収金(321万円)を社会福祉協議会に譲渡

人事

人権擁護委員として次の方を法務大臣に推薦する事に同意しました。

西里 石松英雄 氏

発議

▼小国町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

提出者 時松唯一

町内の議員活動に対する費用弁償(1日1000円)を廃止

▼原子力発電の段階的撤退に向けて、自然エネルギーの開発、普及および促進を求める意見書

提出者 北里勝義

請願採択に伴い内閣総理大臣、衆参両院議長と経済産業大臣に意見書を提出

請願

3月定例会では、次の請願が賛成多数により採択されました。

▼原子力発電から撤退し、自然エネルギーの開発と普及を求める意見書に関する請願書

請願者 あそ九条の会

代表 表 禿 浩道

紹介議員 児玉 智博

梅木 隆志

穴井 帝史

賛否の公表

議題番号	事件名	採決結果	原山光成	梅木隆志	奴留湯哲宣	児玉智博	北里勝義	松崎俊一	松本明雄	穴井帝史	時松唯一	渡邊誠次	北里邦治	高村祝次
議案第3号	小国町情報公開条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第4号	小国町防災会議条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第5号	小国町税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第6号	小国町介護保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	-
議案第7号	小国町営住宅管理条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第8号	小国町営単独住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第9号	小国町テレビ放送共同受信施設の設置等に関する条例等を廃止する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第10号	小国町山村開発センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第11号	阿蘇広域行政事務組合の共同処理する事務及び規約の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第12号	小国町公の施設の管理者指定について(学びの里施設、北里柴三郎記念館)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第13号	町道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第14号	町道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第15号	財産の無償譲渡について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第16号	平成23年度小国町一般会計補正予算(第10号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第17号	平成23年度小国町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第18号	平成23年度小国町老人保健特別会計補正予算(第3号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第19号	平成23年度小国町介護保険特別会計補正予算(第3号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第20号	平成23年度小国町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第21号	平成24年度小国町一般会計予算について	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第22号	平成24年度小国町国民健康保険特別会計予算について	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第23号	平成24年度小国町老人保健特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第24号	平成24年度小国町介護保険特別会計予算について	可決	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	-
議案第25号	平成24年度小国町後期高齢者医療特別会計予算について	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第26号	平成24年度小国町地方改善施設住宅新築資金等貸付金特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第27号	平成24年度小国町坂本善三美術館特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第28号	平成24年度小国町簡易水道特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第29号	平成24年度小国町農業集落排水事業特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第30号	平成24年度小国町水道事業会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第1号	小国町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第2号	原子力発電の段階的撤退に向けて、自然エネルギーの開発、普及および促進を求める意見書(案)について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-
請願第4号	原子力発電から撤退し、自然エネルギーの開発と普及を求める意見書に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-

※議長は採決に加わりません。○…賛成 ×…反対

平成23年度補正予算

会 期

平成24年3月12日

一般会計補正予算 4,281万7千円減額補正

減額補正の主なもの

農業委員選挙費	△358万2千円
予防費(インフルエンザ・各種ワクチンなど予防接種費)	△ 1,015万円
道路新設改良費(国の交付金の減額=減額率38%による)	△ 2,460万円
その他年度末の交付決定等による調整	△448万5千円

増額補正の主なもの

老人ホーム費(木野里荘スプリンクラー設置工事等)	1,248万2千円
消防費(消防団用投光器(発電機付) 団員用雨具等)	218万9千円



国の交付金が減額され工事が進まない町道改良



真新しい雨具を着用して行われた消防大会

国民健康保険特別会計補正予算	389万円減額補正
老人保健特別会計補正予算	1万円追加補正
介護保険特別会計補正予算	5,891万8千円追加補正
農業集落排水事業特別会計補正予算	301万円追加補正

※年度末の交付決定による調整

平成24年第1回臨時議会

会 期
平成24年1月24日

一般会計補正予算 4,628万6千円追加補正を可決

補正予算の主なもの

防災情報施設費	防災行政無線のデジタル化(発信部のみ)	3,350万円
畜産業費	小国ジャージー広報宣伝活動費補助	100万円
住宅管理費	柏田住宅風呂設備改修工事・その他	1,178万6千円

坂本善三美術館特別会計補正予算

非常勤職員報酬を減額し、臨時雇用賃金に変更

災害発生時の初動体制の強化、財政規模の拡大に伴う高度な資器材の計画的な整備、消防緊急無線のデジタル化などを確実にを行うためには、消防の広域化は避けて通れない。
消防署の分駐所体制は、現在のまま変更はしないとのことであった。



阿蘇広域消防北部分署

城北ブロック消防広域化及び
阿蘇広域行政事務組合事業についての勉強会



阿蘇行政事務組合未来館



フェンスで囲まれた城村最終処分場

阿蘇広域事務組合議会には3名の議員を選出している。他の議員は詳しく話を聞く機会が少ないので、広域事務組合より所管する施設及び事業の説明を受けた。特にゴミの問題には関心が高かったようだ。
また、城村の最終処分場の閉鎖工事についても説明を聞いた。

1月24日

回入学



祝・小国小中学校



平成24年4月10日、春薫る中、小国小中学校に初々しく、そして希望に満ちた新入生合わせて113名が入学。小国町の将来を担う宝ものたちが健やかに、のびのびと成長することを議員一同心から願っております。

写真提供 小国小中学校
小国町教育委員会

今、夢開く

第60



福祉増進の町へ

奴留湯 哲宣



子ども達に福祉の体験をさせて欲しい。

小国町は福祉関連施設が多くある。また、高齢化率も年々高くなっている現実もある。現在、福祉関連や病院など働いている人も高齢化しており、募集を行っても応募が無い現状もある。子供の時から福祉などに関心を持ち、将来は小国で福祉などの仕事に就くことや、将来自宅介護の大切さなどを理解しても

らう目的で、小・中高で定期的に体験学習を取り入れてほしい。

また、小国町奨学金を活用し、医師や看護師など小国に就職したら、奨学金免除など行い人材を確保する必要がある。

増える人工透析に対応した町に。

現在、小国郷での透析人口は42名もおり、年々増加傾向にある。小国郷には透析できる医療機関が無く、往復2時間弱かけて通って

いる。また、働きながら透析している人もおり、両立が大変難しい現状である。そこで、将来を見越し、今から小国郷での透析ができる体制づくりをやる必要がある。

地熱発電の規制「緩和」に乗り遅れるな。

最近新聞で循環型エネルギーの地熱発電の開発の促進（現在の3倍目標）のため、規制緩和が打ち出された。小国町にも資源がある。乗り遅れないよう積極的な対応を望む。

小国町は全国の色んな地域に観光PRを行っているが、他の

産業・観光方針の決定を質す

渡邊 誠次



地域と比べ、郷土色の強い加工産品が少なく、見劣りしてしまう。魅力ある商品づくり、小国町の発信力の向上を考えると農林産物の加工が必要と考えるが。

【町長】要検討課題である。学校跡地内の家庭科室の利活用も含め、制度上のルールづくりも検討する。

観光PRに参加すると我が町の弱い部分、足りない要素が見える。地元の素晴らしさも再確認できること

から、PRイベントに執行部も参加してみてはどうか。

【情報課長】観光係以外の人にも参加できるいい機会だが、内部で検討する。

町内の外国人観光についてはどう対応していくか。

【町長】第二義的に考えているが、観光関係機関と相談しながら小さい町なりの方法で語学の受講等の機会を検討していく。

今回の施政方針には産業についてのより攻撃的な姿勢が読み取れない。また、産業全般に関わる観光の方針を町民の目に見える形で決定してほしい。

【町長】一歩踏み出すためにも具体的に方向性、スローガンを早い時期に言えるように行う。

町民負担の軽減

児玉 智博



【町長】町内のお年寄りからは「これ以上の負担は出来ない」という悲鳴があがっているが、今回の保険料の引き上げが与える影響をどう認識されるか。

【町長】所得段階に応じて保険料が設定される仕組みになっており、低所得者へ配慮されているが、高齢者の生活に与える影響は少なくないと認識している。

【町長】年金で生計を立てているお年寄りが大変な状況の時に無慈悲にこれ以上の負担を強いる事は、福祉の機能である町が行う事ではない。社会全体で支え合うのが制度の理念。一般会計からの繰り入れで軽減すべき。

【町長】社会で支え合うという言葉と一般財源を繰り入れる事がぐさまイコールにはならないと思う。

【福祉課長】負担が大変な人に対して受領委任方式で対応したい。

【町長】基本的には、民地に掘削をしているので町づくり審議委員会の許可の下だが、情報は把握していきたい。

地熱開発計画、町有財産の利活用

穴井 帝史



【西里地区において小規模地熱発電計画が三ヶ所あるうち一ヶ所掘削作業が既に始まっている。『地区対企業』の構図になっているが固定資産税等、メリットもある

【町長】今後、慎重にルールづくりをしていきたい。

【建設課長】平成21年からの五カ年計画で国の社会資本整備総合交付金事業を利用して現在、改良を進めている。26、27年度までには橋台二基を完成させたい。表示も検討したい。

【町長】今後は、慎重にルールづくりをしていきたい。

農業参入のあり方を問う

梅木 隆志



【町長】 担い手については、小国在住の若手農業者に力を入れていきたい。新規参入も大事な部分なので、今後、情

【町長】 担い手については、小国在住の若手農業者に力を入れていきたい。新規参入も大事な部分なので、今後、情

境に影響を及ぼさないように情報収集に努め、農業委員会による精査を十分に行い、法令に基づき対処していきたい。

【産業課長】 農業生産法人や会社については決算後、3ヶ月以内に農業委員会に報告する義務がある。何かあれば是正勧告ができる。
※職員の不祥事の対応、職員の人材育成、農地・水・環境向上対策事業についても質問した。

中心市街地の活性化と河川の災害対策

北里 勝義



街地活性化基本計画、TMO構想を策定し、活性化に取り組んできている。町の総合計画においても、空き店舗活用の施設整備を推進していくとあるが、具体的な活用計画はあるか。
【町長】 空き地、空き店舗の実態調査をして、台帳を整備している。今後、商工会やゆうすてーションカンパニーとも連携しながら、空き店舗等の利活用を図りたい。

【町長】 今後、福祉施設としての活用を含め、

【町長】 今後、福祉施設としての活用を含め、

【建設課長】 河川状況等を確認し、検討したい。

地域経済の現状と町の取り組み

松崎 俊一



【町長】 これまでに地熱利用の木材乾燥施設、カーボンオフセットの取り組みなどがある。また、卓球、バスケット、柔道、ホッケーなどのスポーツ振興も行って

いる。ツーリズム大学、コミュニティ活動も支援してきた。

【総務課長】 職員の研修も一年間で32回、述べ126人が参加。今後、町民の皆さんの研修の機会も作りたい。

【町長】 景気対策について、町も職員も町民と同じ課題を共有して取り組んでほしい。町内のがんばっている皆さんの取り組みを支援する。他に紹介する等の行動

【町長】 活性化交付金、光をそそぐ交付金などを活用して産業面、公共事業も可能な限り行いたい。職員も積極的に動いてほしい。そのような姿を町の皆さんも期待している。

【町長】 現在、地域の経済状況はかなり深刻で、切実な問題である。今後の景気に対する対策は。

【町長】 活性化交付金、光をそそぐ交付金などを活用して産業面、公共事業も可能な限り行いたい。職員も積極的に動いてほしい。そのような姿を町の皆さんも期待している。

【町長】 町長は本年度施政方針の中で防災計画の見直しについても述べているが、基本的な考えは。



防災計画の見直し

北里 邦治

避難経路、避難場所の確保等総合的に検討してきたところである。県も2〜3年かけて防災計画を見直す見通し。町も県と歩調を合わせる。

【町長】 小国町が今までに防災、減災に力をいれ

分に承知しているのか。【総務課長】 各家庭に配布してある防災マップ（地図）上に警戒区域を明示していることから理解しているものと捉えている。

【総務課長】 地域住民と見直しを含め、十分に協議していききたいと思う。

【町長】 町長は本年度施政方針の中で防災計画の見直しについても述べているが、基本的な考えは。

【町長】 町長は本年度施政方針の中で防災計画の見直しについても述べているが、基本的な考えは。

職員採用後の実態

時松 唯一

○ 平成22年度に比較して本年度の職員数について伺う。

【総務課長】平成22年度は160数名で、本年度は122名。非常勤職員61名、臨時職員30名。24年度2月1日現在の所属計が213名。

○ 健全化判断比率の中で、実質赤字、連結赤字、実質公債費率、将来負担比率は前年度

に比較し、改善できていないのではないか。

【町長】財政的な部分では同意見だが、町民の生活、福祉の向上等に常に財政と照らし合わせていかなければならないと思う。

○ 職員採用について年度ごとに年齢に差異のあることにたいし、判断基準について伺う。

【町長】一次試験を経て、二次面接は採点の方法がある。その一般的な方法で採用している。

○ 地方公務員法の中に、職務給の原則があるが、どの社会にもこの原則は通用する。町は、職員の年齢や経験年数だけで給与を決めるといふ方式をとってはいないか。

【総務課長】このことは人事院勧告、国が定めた給与表に基づいて昇

給する。努力した職員は他より早く昇格している。

○ 一般職の中で、夫婦、兄弟、他町村からの勤務について住民の総意が得られないと思うが、どのように考えているか。

【町長】意見として執行部で話題にする。

○ 小国町も高齢化が進み、人口の33%が65歳以上である。今後の老人ホームをどうするか。また介護が必要になった場合、出来る限りの在宅介護が一番だと思う。その為には在宅支援サービスを整備し、次への道に対する支援の充実、介護保険をどう使えばいいのかを考えてほしい。

【町長】在宅介護と施設介護とあるが、施設介護が増えてきている。そうなる前の予防に最大限努めていきたい。

【福祉課長】小規模多機能の居宅介護施設、在

小国町の老人福祉と在宅介護

松本 明雄



宅介護をカバーする施設等に介護保険をと考えている。

○ 一人暮らしの高齢者（希望者）に設置している緊急システムの他にスマートフォンが活用できるのではないかと。すでに三重県では総務省のモデル事業として活用している。電話機能としてはもちろん、GPS機能、町独自の活用ができるのではないかと。

【町長】取り組める分野

については、積極的に考えたい。

○ 先日、小国高校で女子高校生に声をかける事案が発生している。事件、事故等の観点から、プライバシーの問題等もあるが、防犯カメラの設置を考えては。

【総務課長】都市部では一般的になっており、小国署からも要望がある。今後検討する。

全国にも通用する話題づくりの提供

原山 光成

【町長】町行政の大きな柱である産業の振興、教育、福祉、三つの柱を基準にして町おこしについて伺う。

【町長】活性化については町の産品を町外に売り込む。人を呼び込む施策を必要と考え、実行に移している。また滝、三社参り、北里柴三郎の顕彰等、提案を進めているところ。更なる助言、提案を望む。

博士は町の顔である。小国町を「柴三郎の里」と変えてもいいほどである。博士のバッジなどを考えてみては。

【情報課長】博士の顕彰事業については、北里研究所、現在住に連絡がとれている。北里博士は小国のシンボルでもあるので、今後160周年にむけて内容を濃くしていきたい。



客の動きがでてきたと聞いている。しかし、人の動きがでてきても小国町にお金を落とすシステムがない。発酵利用の食品づくりなど、商品開発を進めてみては。

【町長】昨年は農家にワーキングチームを作り、実働をはじめて一定の評価を得ている。産品を作ったり、人を呼び込んだりその他の地区との競争に負けないように頑張りたい。

平成二十四年度各期成会出席予定

小国町議会議長 高村 祝次

議長

平成24年5月の城北ブロック消防広域化協議会を皮切りに、6月初旬、国道57号整備促進期成会、中九州・地域高規格道路促進期成会、一般国道212号改修促進期成会、熊本・阿蘇幹線道路整備促進期成会、国道442号道路整備促進期成会等に小国町議会議長として出席予定。この各会議は市町村長及び、議会議長が理事になり、それぞれの会の中で、道路の拡張等を国に、また県に要望することを目的とする会議である。





① 予算 決算・会計

予算・会計の流れ



当初予算

年度が始まる前に、年度の全ての収入と支出を計上したもので、首長（町長）は、議会に提案して、議会の議決を得て、予算を定めなければならない。（地方自治法 第96条）

補正予算

年度の途中で災害の発生や状況の変化により、事業費を変更する必要があるとき、当初予算に変更を加える補正を行います。

会計決算

年度内にどのような収入があり、何にどれだけ支出したかの決算認定です。収入と支出の差し引きの結果、お金が残った場合は、翌年度の繰り越しや、将来のために基金積立、また町債の返済に使います。

一般会計と特別会計

一般会計とは、町の職員給与や、学校の建設費など町の全般的な収入・支出を経理する会計で、これに対し特別会計とは、一般会計とは別に特定の事業に使う場合で、一般会計とは別に経理するものです。（国民健康保険事業、農業集落排水事業など）

次回の小国町議会開催は6月中旬予定です。

みなさんの傍聴をお待ちしています。

※6月議会の一般質問の放映は7月初旬予定です。

おぐちゃん(10チャンネル)にてご覧ください。

編集後記

今号から、わかりやすい議会ということ、行政用語や議会だけで使う用語を解説して、少しでも議会のことを理解していただくことを考えています。

3月議会は、予算議会とも呼ばれ、平成24年度の予算を審議いたしました。そこで今号は予算と会計の流れの基本的なことを掲載しました。

議会や議会の仕組みについてわからないことがあれば、お尋ねください。

広報委員会では「開かれた議会」を目指し、今後の広報活動に努めたいと考えます。

(梅木)

広報特別委員会

委員長 渡邊 誠次

副委員長 梅木 隆志

委員 奴留湯 哲宣

児玉 智博

発行責任者

高村 祝次